



# ボリビア産 コパカバーナ農園

チチカカ湖内には『太陽の島』と『月の島』があります。この島からインカの神が生まれたと言われ、発祥の地となり、インカ帝国の宗教的な巡礼地となつてそうです。現在では、キリスト教徒の巡礼地となっており、農園主マリアも敬虔なクリスチャンです。農園入口には、聖母マリア像が飾られています。また、この島には神秘的なパワーがあると言われ、多くのヨーロッパ人がポジティブエナジーをもらいに訪れています。



農園主マリア

コパカバーナ農園のティピカは、セロ・コンドリリー(コンドリリーの丘)というブロックで栽培されています。ねむの木の木陰で丁寧に栽培されたティピカ100%の香り高いです。

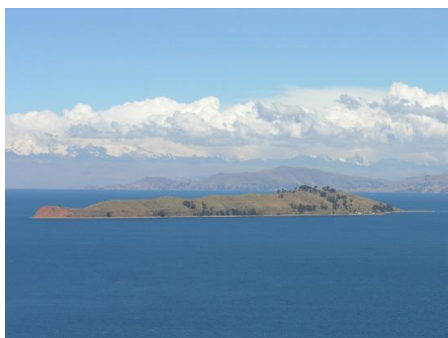


品名  
生産国  
地域  
農園名  
クロップ  
スクリーン  
木の品種  
その他  
精製方法  
開花時期  
収穫時期

コパカバーナ セロ コンドリリー  
ボリビア共和国  
ラパス県ユングス地方カラム  
コパカバーナ農園  
2005  
スクリーン16アップ  
ティピカ100%  
100%天日乾燥、標高1350-1500m、日陰栽培、年間降水量  
2000ミリ  
水洗式  
9月- 10月  
5月-10月



チチカカ湖



農園地図



チチカカ湖周辺地図